

支倉常長フェロー報告書

提出日 2010年08月27日



申請者	氏名	船木 智
	所属・職	分子免疫分野 大学院生
出張期間	2010年8月14日～8月21日	
渡航先	米国 CAREFREE	
渡航目的	学会参加	
発表演題名あるいは共同研究課題名	SMAP2 one of the ArfGAP, is localized at the trans-golgi network	
得られた成果など	<p>FASEB Summer Research Conference entitled: "Arf Family G Proteins".に参加した。小胞輸送に関係している small G protein である Arf について熱く研究している方々で、70人前後の比較的小さい会議で、非常に和やかな中にも、研究に対する姿勢と素晴らしい探究心を感じる、刺激的な日々を過ごした。</p> <p>私は恐縮にも口頭発表に選ばれてしまい、非常に緊張したまま発表の日を迎えた。Arf の GAP は小胞輸送において促進作用にも関係しているという最近の報告が多い中、私は ArfGAP である SMAP2 が TGN に局在し、小胞輸送においてネガティブに制御することについて発表した。発表後には質問をしてくださる人が意外にも多く、感激した。</p> <p>SMAP2 の局在に関して PI4P と直接結合するか、また retrograde, anterograde の両面から、輸送に関して調べたほうが良いなど、今後の研究に生かせるアドバイスなどを多くいただいた。気さくに通りすがりに質問してくださる海外研究者の方や、発表前にナーバスになっていた私を励ましてくださった機器操作専門の FASEB のスタッフの方、人々に恵まれてなんとか無事に学会を終えることができた。FASEB で受けた刺激を研究に対する姿勢、意欲に反映させていきたいと思う。</p>	 

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。